

第7回 杉並区立杉並第一小学校改築・複合化検討懇談会会議録(要旨)

会議名	第7回杉並区立杉並第一小学校改築・複合化検討懇談会
日時	平成28年2月25日(木) 午後2時30分～午後4時50分
場所	杉並区役所 中棟6階 第4会議室
出席者	懇談会委員15名、事務局及び関係職員9名
傍聴者	12名
次第	1 開 会 2 前回懇談会における視察について 3 配置計画(案)(ゾーニングイメージ含む)について 4 杉並第一小学校等複合施設整備に係る基本構想・基本計画(案)について 5 事務局からの連絡事項 6 閉 会
資料	資料1 配置検討案における校庭面積と視察先(昌平小、中央小)校庭面積の比較図 資料2 防災に関する考え方について 資料3 配置計画(案)比較検討表【修正版】 資料4 杉並第一小学校等複合施設整備に係る基本構想・基本計画(案)

進行役	<p>本日はお忙しい中、「第7回杉並区立杉並第一小学校改築・複合化検討懇談会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日も、2時間弱くらいを目安に、進行できればと思いますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、配布資料の確認を事務局からお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>それでは、本日の配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(配布資料の確認)</p>
進行役	<p>それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。</p> <p>次第2「前回懇談会における視察について」ということで、前回の第6回の懇談会は、千代田区立昌平小学校と中央区立中央小学校への視察に行っていました。両校とも、学校と他の施設の複合施設であり、かつ、建物の屋上に校庭を設置している学校です。</p> <p>当日、欠席の委員もいらっしゃいましたので、事務局からご説明をいただきまして、その後、視察へ参加された委員の皆様からご感想をいただければと思います。</p>
教育施設計画推進担当係長	(スライド(写真)を基に視察の報告)
進行役	それでは、委員の皆様から順番に視察の感想をいただければと思います。
委員	2つの学校を見られ、実際の屋上校庭や最新の設備を見られたことは本当に勉強になりました。ずっと資料で話をしていたので、そこで言っていたゾーニ

	<p>ングプランが現実的にはこういう建物になるのだと分かりました。私は、杉並和泉学園と天沼小学校を見学させていただきましたが、それと今回見せていただいた昌平小学校と中央小学校を見て、20年前の学校建築と5年以内の学校建築を見て、これが現代の学校建築なのだなと感じました。屋上校庭の開閉式屋根の設備を見せていただいて、杉並第一小学校にも反映していただけることを期待しています。</p>
委員	<p>屋上校庭というのはやはり、話し合いの場だけですとイメージがつかないこともありまして、当初はグラウンドは地上のほうが良いのかなと思っていたのですが、今回2校見せていただいて、特に中央小学校の屋上校庭は風が入ったり光の具合、床の塗装についても、昌平小学校よりかなり技術が進んでおり、子どもたちが遊んでいるイメージも持つことができ、良い印象を持ちました。</p> <p>ただ、一番気になるのは、防災の時の一時避難場所として、両校とも道を挟んで隣に小さな公園があり、一時的にそこに集まるですとか、そういう配慮があつての公園なのかな、という気がしました。それから近所の盆踊りやちょっとしたお祭りを地上でできるという配慮があつたようなので、防災と地域行事の面で杉並第一小学校にもそういうスペースが確保できると良いと感じました。</p>
委員	<p>2校を見学させていただきありがとうございました。イメージと実際に見た違いは大きく差があると思います。20年前のものと3年前のもの、この17年の差はこんなに大きいのかと感じました。杉並第一小学校についても、この先10年でどうできるかという観点で話をしないと、その差はすごいものでありました。</p> <p>昌平小学校は先駆的な取り組みなので仕方がない面もありますが、地域と学校のきちんとした区切りがなく、どちらにも使いやすいというのは聞こえは良いですが、教育的には非常に使いづらいです。人を配置しても図書館から学校に十分入りきれますし、屋上の備品倉庫は地域の方が使っているのだろうと思いますが整理がされていない印象でした。やはり地域が使うもの、学校が使うものがしっかり整理ができていないと、20年前だから仕方がないとはいえ、杉並第一小学校もしっかりと見据えてやっていただきたいと思いました。</p> <p>その最たるものが多目的室で、あのシャンデリアが、避難する場所があるとかないとかの以前の問題で、地震が起きたらあのシャンデリアは落ちると思いますし、教育には相応しくないですが、ダンスのためのシャンデリアがあり、ハイヒールで踊るために床にもいくつ穴があいていますし、これが子どもたちの教育の場として相応しいかということはとても疑問を感じました。地域が使うべきところと、学校で使うべきところを明確にしてもらえるとありがたいと思いました。</p> <p>また、屋上校庭に関しては、昌平小学校は声が響いて音がすごかったですし、屋上校庭というよりはなにか第二体育館のような感じでしたので、中央小学校のような屋外という意識を持った屋上校庭にしてもらえたら良いなと思いました。また、将来のことを考えると雨風は非常に家屋を痛めつけると聞いてい</p>

	<p>ますし、先ほど委員からの意見もありましたが、全天候型で屋根をつけてもらえると学校教育環境として非常に良いと私も思いました。</p>
委員	<p>杉並第一小学校の新校舎完成は平成 33 年度なので、更に斬新なデザインや教育的観点も変わっていき、区民や子どもたちが見たらびっくりするような、それこそ中央小学校を見た時に驚いたのが杉並第一小学校でもできるのではないかと思いました。</p> <p>また、2校ともプールが区民に活用されていて、杉並第一小学校では検討されていないのかもしれませんが、これからの高齢化社会を考えて、区民に開放できたらと思いました。</p> <p>また、私も杉並和泉学園を見学しましたが、白い空間で病院のようなイメージがありましたが、中央小学校は木をふんだんに使っていて、階段に遊びの空間があったり、子どもの気持ちを考えて、子どもの心理に寄り添ったつくりになっていると思いました。</p>
委員	<p>大変参考になりました。まず、2つの学校の共通点は隣接して小さな公園があるということがたまたまなのかもしれませんが、やはりこれが屋上校庭に繋がったのではないかなと思います。2つの学校の相違点としては、20年という長い期間で、建築的な技術の進歩を感じました。中央小学校の屋上校庭について特に感じ、開閉式屋根は素晴らしい技術だと思います。中央小学校は雨天で運動会が中止ということが全くないと校長先生がおっしゃっていました。</p> <p>ただ、杉並第一小学校は野球部に力を入れています、どちらの学校も野球部が使用するには無理があるのではないかと思いました。</p> <p>もう一つ、中央小学校は20年後に建てられ技術的には屋根はすばらしいと思いましたが、校庭の地面が転んだら痛そうだなという印象を受けました。</p> <p>それともう一点、学校の外観につきまして、杉並第一小学校は区民施設との複合化というのがありますが、学びの場であるというよりは、特に中央小学校はマンションなのだから、何の建物か分からなくて大変奇異に感じました。</p>
委員	<p>イメージが沸くという面では非常に良かったと思いましたが、ありがとうございます。私が感じたのは、両校とも隣に公園があり、その上で屋上校庭が使えるということだと思います。杉並第一小学校にも同じようなものがあるのだろうかと考え、屋上だけにしてしまうとそのような地面の部分がなく、何かあった時に外に出る、あるいは近くに集まるという場所としては杉並第一小学校が屋上校庭のみになってしまうと不安も感じるなと思いました。</p> <p>屋上校庭については非常に良いなと思いました。ただ、最初の昌平小学校の場合にはどうしても20年経っているという現代との差があるなと、それは建物自体にしてもそうですし、周りの環境を見てもそうだなと感じました。</p> <p>ただ、両校ともプールが温水なのは魅力だなと思いました。他自治体でも調べてみると何校かはありますし、杉並区でも杉並第十小学校がありますが、杉並第一小学校の場所は駅に近いという面では、地域の人たちが夜間にプールを活用できると利用しやすいです。また、けやき公園プールが杉並第一小学校の仮設校舎となって、またその後でそこにプールをつくれるかと考えた時に、杉</p>

	<p>並第一小学校のプールを温水化することによって区民への開放を考えると、これから 20 年、30 年先を見ると必要なのではないかと思います。建築コスト、ランニングコストもかかるというお話でしたが、先を見て考えていく必要があるのかなと感じました。</p> <p>外観についても、昌平小学校はビルの真ん中なので分かりにくかったですが、中央小学校は周りが住宅の中にある建物なので、あまり目立たずマンションのように見えました。これが杉並第一小学校が同じような建物だと考えるともう少し地域と融合性をもった外観が必要なのかなと感じました。</p>
委員	<p>屋上校庭ということで2つの小学校を見させていただきましたが、昌平小学校と中央小学校を比べるとやはり時代の差、年代の差がありまして、新しい技術が適用された中央小学校のほうが良いなと感じました。特に地面がウレタンになっているのが足に負担をかけなくて、走った時に良いのではないかと思います。</p> <p>それと、皆さんからお話がありましたが、屋根は必要だと思いました。杉並第一小学校の場合は、屋根をつけるとなると昌平小学校と中央小学校に比べ大きくなり、その分お金もかかり大変だとは思いますが、そこはやはり屋上校庭をつくるなら屋根をつけていただきたいなと思います。屋上校庭にしますと、構造的にほとんど四角い形になると思うので、構造的にしっかりしますし、地震が起きた時でも強度を保てるのではないかと思います。</p> <p>外観についても、阿佐谷駅の北口や屋敷林、社寺地とのバランス的にもあまり高い建物よりも4階建くらいで収まっていたら、見た目も、景観的にも良いなという印象を受けました。</p>
委員	<p>大変参考になりました。コンパクトですが、よくできていて圧倒されたような気がしました。私は一つポイントをもって見たのですが、複合化した施設の動線を考えた時に、イベントに来た人の階段の上り下りやエレベーターの乗り降りが一番気になります。それを2校見て参考にしたかったところです。人の動線というものを考えられればと思います。</p>
委員	<p>私も見学に同行させていただき、ありがとうございました。中央小学校は初めてでしたが、昌平小学校は3回目でした。昌平小学校は築20年以上とのことで、竣工後、築10年程度、そして今回と、どのように使い込まれてきたのか見学することができました。</p> <p>3点申し上げます。1つは、屋上校庭案とすれば、委員の皆さんは開閉式屋根とセットでイメージされていると思います。2校の見学からわかるように、建築技術は日進月歩で進化しているため、築10年となれば10年分老朽化し、20年経てば20年老朽化します。その点を理解した上で、選択する必要があると思います。構造は50年超等、長寿命化が可能ですが、設備は10年、20年で確実に修繕・交換が必要になります。運営管理とセットで考えておくことが必要です。</p> <p>2つ目は、多くの委員の発言にありましたように、階段横の小スペース、吹き抜けの大空間、ガラス張りの職員室等、従来の学校建築に無い空間を多く見</p>

	<p>学することができたと思います。委員の方々が新しい学校に取り入れたいと思った空間があれば、今後、提案も含めてリクエストしていくとよいと思います。</p> <p>3つ目は、学校敷地隣の公園についてです。関東大震災後の都心の復興小学校の計画は、校庭を含む学校敷地と、隣接して同規模の都市公園がセットで設計され、都市防災上重要なコンセプトを持っていました。中央区の泰明小学校等が建物も使い続けており有名ですが、ほとんどの事例は公園側がオフィスビルになったり、最初の都市防災コンセプトの継承が困難になっている事例もあります。杉並第一小学校は、周囲に多様なオープンスペースがあるので、区の所有ではないにしても、近隣と連携しながら活用し合っていくことが重要だと思います。</p>
委員	<p>勉強になりました、ありがとうございました。まさに、百聞は一見にしかず、見ることで勉強になったことが非常に多かったです。私の視点からは、2つの視点で見ました。</p> <p>1つは、屋上校庭か地上校庭かという議論があり、その際に常に話題にあったのは防災とセットで屋上校庭か地上校庭かということが議論されていたと思います。その点で見ると昌平小学校と中央小学校はいざという時にはその建物にとどまる、そして隣に公園があるということで、それをうまく使うということがあったので、2つの事例を見れて良かったです。屋上校庭については、初めて私も見ました。まさに、20年前のものと最近のもの技術力の差が歴然と表れていたと思いますので、今、委員が言われたように設備面の更新についてはとても重要だと思いました。</p> <p>それからもう一つは、複合化です。今回見た事例は、昌平小学校は図書館と児童館、幼稚園があり、複合化を見る中で、図書館からの動線は私も若干疑問を感じました。それから、多目的ホールの空間については、非常に良い作り方、いい場所にあると思います。校内でも使えるし、一般の方も使えるという意味ではプラスの面はあるし、うまく使えば次にも役立つ気がします。中央小学校は、複合化は1階に幼稚園がありました。動線ではっきり分かれているので、空間分離が明確にできたと思いますが、杉並第一小学校の場合は、中杉通り側に賑わいをつくり出して、東側に教育環境をつくるという考えができていますので、特に中杉通り側に賑わいをどうつくるかが重要だと思います。これは個人的感想ですが、中央小学校を見た時に、説明される校長や教育委員会の方、建築担当の方が誇らしげに説明をしていて、良い学校をつくった感じが伝わってきました。</p>
進行係	<p>様々な視点からのご感想をいただきましたが、参加できなかった委員の方で質問したい内容などがございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>行けなくて残念です。開閉式屋根の場合、例えば中央小学校は、6階が屋上校庭で、6階部分の周りが建物で中が校庭だと思いますが、杉並第一小学校の場合は、4階建というのは、私は4階は普通に教室でその屋上部分の5階部分が屋上校庭になると思っていました。もし、開閉式屋根がついた場合、教室としてのフロアは3階までで、4階から校庭になるということでしょうか。下か</p>

	<p>ら見たら屋上校庭の屋根までが建物の高さに感じます。ただし、開閉式屋根にするといろんなところで使い勝手が良くなると思います。</p>
学校整備担当部長	<p>学校の必要面積と必要部屋数を積み上げるとだいたいの学校の規模が決まります。また、区民施設も今の地域区民センターと産業商工会館を参考にするので、規模が決まります。それをレイアウトすると4階建になります。階数はこれ以上下げられません。なので、屋上校庭で開放式屋根をつくとすると、5階部分が屋上校庭になって、5階建となります。</p>
委員	<p>そうすると、容積率は大丈夫ですか。</p>
学校整備担当部長	<p>道路斜線や北側斜線制限がありますが、容積率は問題ないと思います。後は建築基準法や都市計画法の斜線の高さ制限にかからない範囲で屋根を考えます。</p> <p>ネットについては柱をたててメッシュを張りますが、ネットなので影が落ちるわけではありませんが、どこまで建築基準法上の工作物になるのか微妙なところですので、それはこれから詰めないといけません。</p>
委員	<p>屋上校庭にすると野球は無理じゃないですか。</p>
学校整備担当部長	<p>今の校庭も野球をやるには幅が狭いので、今でも十分にはできないはずです。屋上校庭にした場合、屋根をつけても野球はできます。ただし、フライを上げてという練習はできないでしょうから、今の杉並第一小学校でできる練習の範疇と大差はないと考えています。</p> <p>中央小学校は、ボールをやわらかいものにかえてやっているの、野球ができないということはありません。</p>
進行役	<p>学校には今、野球というものはなくベースボール型ゲームということで、やわらかいボールを使ったり、バッティングティーにボールを載せて打つティーボールであったりとゲーム型がかわっています。学校の計画の中では、いわゆる野球をやることは考えていません。しいていうなら、地域の野球部の練習等に使う場合が気になります。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>中央小学校の屋根の一番高い部分が10mとなっています。野球の練習というフライをとる練習、目を養う練習がかかせないこともあると思いますが、例えば校庭が広がることで今までできなかった練習ができる可能性も広がります。この屋根も柔らかい素材を使っていますが、軟式のボールが当たっても壊れない作りにはなっています。ですから、野球のニーズを含め、目指す配置案が屋上校庭案であれば、そういう点も含め考える必要があります。</p>
委員	<p>仕事の都合で行けず、欠席しました。どちらも屋上校庭の施設の見学ということで、なぜ比較で地上校庭の学校を見学にいれなかったのでしょうか。今、皆さん屋上校庭案になびいてしまって誘導されたようにも感じますが、開閉式屋根という話は少なくとも屋上校庭案では一度も出てきていない話で、費用も想定外になるし、設備の問題もあり簡単には開閉式屋根とセットで論じてはいけけないのではないかと思います。ただ魅力もすごくあるし、地上校庭案もこの計画は人工地盤という話でしたから、地盤の問題として屋上校庭と地上校庭の違いはありませんから、見学に行かれた経験も踏まえ、もう一度冷静に考え</p>

	<p>ていただけたらと思います。</p>
委員	<p>地上校庭か屋上校庭かということもですが、ガラス張りが多いことが気になりました。昨年、高井戸第二小学校を見学に行った時も、職員室のガラス張りが大変気になりました。といいますのも、最近いろいろな事件がある中で、教職員の方たちは精神的にもいろいろな面でプレッシャーの多い仕事ではないかと思います。登下校などで児童と顔を合わせられるのは良いですが、ガラス張りの意味ということを少し考えて欲しいです。</p> <p>この辺りは公園も少ないので、せめて学校の校庭は裸足で歩けるようにと思っていましたが、2校とも屋上校庭を見させていただき、隣接する公園もあり、それなりに配慮されていると思いました。</p> <p>4階建か8階建かで、低層か高層かという論議が欲しかったと思います。</p>
委員	<p>プールについては前に温水化するかしないかの話が出ました。これから中身の話をしていくと思いますが、全部を取ることはできないので、どれにするかという判断をうまくしていただければと思います。防災の面から、屋上校庭は心配していましたが、近くに公園があったり、建物そのものに安心感があれば、いきなり外に出るのも危険ですから、防災の面からも屋上校庭にしても良いのかなと考えが変わってきました。</p>
学校整備担当部長	<p>懇談会に2案を提示して屋上校庭自体が想像できないとか感覚として分からないということがありました。防災の面からどのように安全を保てるのか、また校長先生からは災害時に児童の安全をどう守れるのかという意見があったので、実例のある学校を見ましようということで2校視察しました。</p>
委員	<p>私も2校見たのですが、同じ屋上校庭といってもイメージがずいぶん違うなと思いました。中央小学校に関しては、屋上校庭のイメージがだいぶ変わりましたし、風の通りが良く気持ち良かったです。技術があらゆる面で日々進歩していることを感じました。そこからまたさらに新しいものに杉並第一小学校がなると考えると、屋上校庭案に様々な可能性を感じました。</p> <p>複合施設というのは、今回は杉並第一小学校に区民施設も一緒になるということですが、やはり子どもの教育施設ということを踏まえて優先順位をきちんとつけていただきたいです。構想時、計画時ですが、使用するずっと長い年月においても、何のためにこの建物があるかを皆さんで考えてそれを守っていく必要があると思いました。</p>
進行役	<p>それでは、次第3「配置計画（案）（ゾーニングイメージ含む）について」ということで、引き続きの検討となります。</p> <p>これまで、施設の配置検討を行う上で、子どもたちの教育環境、防災上の児童・地域住民等の安全の確保、いずれも大切なものですが、防災面でご心配なされる発言も多かったかと思います。</p> <p>区においても、それらのご意見を踏まえ、本日、防災面についての考え方を整理した資料をご用意いただいているようです。</p> <p>本日、配置検討を行う上で、ご用意いただいた関連資料について、事務局か</p>

	<p>らご説明をお願いいたします。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>それでは、「資料1」ですが、現在検討中の配置計画2案の校庭部分に、視察に行きました昌平小学校、中央小学校の屋上校庭面積をおいた場合の比較図となります。</p> <p>緑色の線が昌平小学校の校庭、青色が中央小学校の校庭の広さとして、見ていただければと思います。視察に参加いただいた委員の方は、広さのイメージができるのではないかと思います。</p> <p>両校とも屋上に校庭を設置していますが、緑色の昌平小学校は、正方形に近い形状、面積は1,840㎡で現在の杉並第一小学校とほぼ同等の面積となります。青色の中央小学校は、約2,100㎡の面積ですが、風が通るような空間作りの工夫などもあって、それ以上に広く感じられたのではないのでしょうか。</p> <p>左側の図面は地上校庭案ですが、現状より縦に長く面積は広くなるイメージです。東側道路沿いに2mの歩道状空地設置のための敷地後退もあり、横幅としては青色の中央小学校より狭いイメージとなります。</p> <p>次に、右側の屋上校庭案に2つの小学校の校庭面積を重ねた場合ですが、青色の中央小学校の面積より約3割増の面積が確保できることとなります。中央小学校の校庭のトラックが80m、配置検討の中での屋上校庭案では110mトラックができるということで、校庭面積の確保や日照の確保という点では、屋上の校庭は、現状の校庭環境から向上を図れる一つの案といえると思います。</p> <p>視察した両校とも、開閉式の屋根を設置していることで、天候に左右されず計画的な教育活動が実施できること、天気の良い日であれば日光の下で活動を行い、日差しが強い日や寒い日などは、屋根を開閉しながら調整ができるという利点もあるとのことでした。</p> <p>あくまで、校庭面積をイメージしていただくための資料となりますが、この後の配置計画案の検討の参考にしていただければと思います。</p> <p>次に「資料2」になります。配置計画案を検討する上で、基本方針(案)にも記載しておりますが、学校は災害時の地域の避難・復旧拠点として、防災機能が十分に備わった施設として整備します。また、日常的に学校で生活する児童、そして教職員にとっても安心・安全な施設でなければいけません。</p> <p>この懇談会でもそうですが、1月に開催しました保護者説明会や地域説明会においても、特に、これまでと違う屋上校庭案では、防災上の考え方がどのように担保され、子どもたちや地域住民の安全がどのように確保できるのかという質問等がありました。区におきましても、防災課も含め考え方を整理してまいりました。</p> <p>まず、災害時における児童の安全確保という観点では、いずれの案においても、新しい校舎・施設における学校防災マニュアルをどのように作りこんでいくかということになります。</p> <p>平成23年3月11日に発生したマグニチュード9の東日本大震災では、その後の巨大津波によって、広い地域で甚大な被害が発生し、多くの人命が失われました。文部科学省では、有識者会議での意見や被災した学校等の調査などが</p>

ら、平成 24 年 3 月に「学校防災マニュアル（地震・津波災害編）作成の手引き」を作成しました。各学校の地域特性や児童・生徒の実態等に応じた学校防災マニュアルの整備・充実に活用できるようにとまとめたものとなります。

「資料 2」は、その手引きの中から、地震時、火災時などにおける避難場所の考え方について整理した資料とご理解いただければと思います。

まず、2 ページですが、地震発生時の避難場所の考え方ということになります。耐震化が図られている建物については、地震動によって建物が倒壊する危険性が低いと考えられていますので、文部科学省の「学校防災マニュアル（地震・津波災害編）作成の手引き」でも、慌てて建物の外に飛び出すような行動はかえって危険だと示唆されています。

3 ページが火災時となりますが、学校から出火した場合、あるいは大規模地震等が発生して近隣で火災が発生し、延焼・類焼の恐れがある場合が考えられます。その場合の避難場所としては、校庭・公園などの広い空間、一時避難場所、広域避難場所という整理になります。

そして、4 ページですが、地震発生後に起こる二次災害ということですが、余震では建物の倒壊、非構造部材の落下、転倒、移動など、また学校からの出火、周辺地域からの延焼・類焼、その他としては、液状化現象や地盤沈下、道路の亀裂、道路の表装がめくれるなどの二次災害も考えられます。二次災害は、地域性や自然的環境、社会的環境、また施設の耐震化の有無の違いで起こりやすさが変わります。杉並第一小学校の立地と施設の特徴を鑑み、地上校庭案・屋上校庭案のいずれを目指す場合でも、それに適した新施設の学校防災マニュアルの作成が必要になります。

5 ページからですが、現在の配置検討案における防災上の考え方について、防災課も含めて検討し、整理した内容となります。

まず、平成 7 年 1 月 17 日に発生した阪神・淡路大震災は、淡路島北部を震源とするマグニチュード 7.3 の地震が発生し、発生直後に行った被害状況調査の結果、神戸市の一部の地域等において震度 7 だったことが報告されています。この地震は、内陸で発生した、いわゆる直下型地震となります。

死者約 6,500 名という極めて深刻な人的被害をもたらしたのは、家屋の倒壊などによることが主要因でした。この地震で、昭和 56 年以前に建築された建物の約 7 割は小破以上の被害を受け、逆に昭和 56 年以降の建物の 7 割は軽微な被害で済んでいました。

東日本大震災においても、学校施設の倒壊等に起因する死亡報告はなく、津波による被害が主要因でした。昭和 56 年の新耐震基準以降に建築された学校施設や、新耐震基準以前に建築されても耐震補強されたものについては、概ね小規模被害あるいは無被害に留まっていると文部科学省の資料で報告されています。また、学校施設以外でも新耐震基準以降の建物の倒壊の報告はありません。

検討している 2 案についてですが、いずれも耐震性能が高く、その目標としては、大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用でき、人

命の安全確保に加えて機能確保が図られている一般の建築物よりも建物強度が 1.25 倍以上高い建物となります。

5 ページで、児童の避難場所の考え方の違いは、地震動後の火災などの二次災害も踏まえて、避難階となる 1 階レベルへの避難ということで整理しています。地上校庭案は、体育館の配置案が地下 1 階となるので、1 階レベルの校庭に一時避難するというこれまでと同じ方法が適切だろうと考えます。

次に、屋上校庭案は、現在のプランニングにおいて、建物の高さ約 16m の割に、底辺が広く安定した形であり、耐震性能の高い建物となります。そのことから、体育館に避難して揺れが落ち着くまで待機することで児童の安全確保が十分に図れると整理しました。

視察先の昌平小学校は、新耐震基準以降に建築された学校施設で、大規模な地震発生の際の一時避難場所は体育館としております。これから区が整備する複合施設は、それよりもより耐震性の高い建物となります。もう 1 校視察した中央小学校においても、現在は、地震の後の二次被害で火災の発生を考慮し、近隣の公園に一時避難する仕組みに変更したとのことですが、それ以前は、屋上校庭が避難場所となっていました。火災が起きない限り、大規模な地震動ではこの建物が最も安全と判断していたことによるものです。

以上のことから、屋上校庭案の大規模地震発生時の児童の一時避難場所は、1 階部分の体育館とし、十分に安全確保が図れると考えています。ただし、災害時は予期せぬ事態、火災などが発生する可能性もあります。建物内に留まることを基本としながらも、近隣の神明宮、東側の個人宅の広大な敷地も万が一の際は、ご協力いただけるとのお話もいただいておりますので、必要に応じて近隣の空地の活用も含めた重層的な安全対策を講じていくかたちで、新校舎における学校防災マニュアルをきちんと整備し、児童の防災教育、避難訓練を行いながら、災害に備えていく必要があると思います。

ただ、これまで経験したことのない規模の地震が来た場合、どうなのかという心配もあるかと思えます。もし、この複合施設が倒壊するような場合は、周辺地域の建物もほとんど倒壊し、まち全体が壊滅するような甚大な被害になると思います。新しい建物が倒れないことを前提にした安全対策を考えていくことが現実的だと思えます。

次に、地域住民の避難ということで震災救援所の機能ですが、建物に案内するまでの滞留場所がどうなるかということですが、12 月の懇談会で示した内容と変更はありません。防災課にも相談して安全確認のためには一時待機場所は必要ということで、避難者が来た時に建物の安全確認が終わるまでは校庭及び近隣空地に一時待機します。安全確認が終わったら体育館を含めて誘導します。ただ、耐震性の高い建物が避難所となるため、建物の安全確認のポイントはかなり絞られてこれまで以上に速やかに安全確認をできるでしょうし、大勢の方を滞留させることなく、避難所を開設できることも考えられますので、今後、区と震災救援所連絡会で新施設での震災救援所マニュアルを整備する中で、整理していくこととなります。

	<p>6 ページの近隣火災時も 12 月の懇談会と変更なく、地上校庭案の場合は避難階が 1 階なので校庭に集合して広域避難場所に避難します。屋上校庭案の場合は、体育館に集合して広域避難場所に避難します。</p> <p>7 ページの学校火災時ですが、屋上校庭案は、近隣空地等へ一時避難としていますが、12 月の懇談会でも出た道路を渡って近隣空地へ行かなくてはいけない課題もあり、屋上校庭案の現在のプランで北側の昇降口前に一定のスペースを設けているゾーニング案となっているので、そこを活用し児童を整列させ、近隣空地へ向かうことも想定しています。</p> <p>8 ページは、1 月の説明会でこれまで震災救援所で行っていた炊き出しが屋上校庭だとできなくなるのではないかという意見がありました。地上校庭でも屋上校庭でも人工地盤になるので、舗装材の種類を土にしたり、種類によっては火を使えないものばかりではないと思います。また、溶けてしまうという場合にも工夫によって下に何か敷く等の対応ができるかもしれませんので、炊き出しについては新しい施設になっても問題ないと考えます。</p> <p>また、救援物資の搬入ですが、発災後に 2 t トラックで各震災救援所へ運びますが、地上校庭案では校庭に入れますが、両案とも地下駐車場、敷地内スペースに入れます。万一、施設の敷地に入れない場合は、中杉通りでの一時駐車等で物資受け入れ可能だと考えています。</p> <p>最後に「資料 3」ですが、12 月の懇談会において、資料として示しました配置検討案の比較検討表の修正版となります。ただいまの「資料 2」の防災に関する考え方に基づいて、「4 防災」の部分を改めて整理したものととなります。</p>
進行役	<p>ただいまの説明について何か質問はありますか。</p> <p>(委員からの質問は特になし)</p> <p>それでは、配置検討に入りたいと思います。他区の屋上校庭設置校の実例の視察の実施、そして本日、区の内部検討を踏まえたご説明がありました。</p> <p>今年度中に、この複合施設の基本構想・基本計画を策定することとなっていますが、配置計画案が 1 案に絞られれば、より望ましいと伺っております。そのような検討となるよう、委員の皆様からご意見を伺っていきたいと思っています。</p> <p>それでは、本日も全員から意見を伺っていきたいと思います。どちらの案が望ましいと考えるか、また、このように条件を加えるとより良くなるのではないかなどもございましたら、お願いいたします。</p>
委員	<p>屋上校庭案を見せていただいて悪くないが、地続きで避難ができるということで、地上校庭案も私の中ではなしになっていません。ここで今決めてくれと言われてもちょっと困りますが、理想をいえば、屋上校庭があつて、地上にも避難できるスペースがあるのが理想ですが、防災について中央小学校に質問したところ、火災が起きたことはないので実際どうなるかは分からないが、それに備え自動シャッター等のシステムはあるので、ちゃんと考えてやっているとお答えいただきました。地上校庭は地続きというところで捨て切れないので、ここでは答えが出せません。</p>

委員	<p>まだ微妙なところはありますが、どちらかと言われれば私は屋上校庭案を選びます。ただし、図面でいう今プールがある場所が、少し計画的に広場が設けられそうということで、スペースがイメージできませんが、見学で見たような隣接する公園のようになれば、子どもたちの一時的な遊び場として活用できるようになれば良いかなと思います。あと、屋上での野球について、フライの練習は屋上では無理かと思いますが、ノック練習等できる練習はたくさんあると思いますし、実際今の校庭の大きさは小学生の野球の試合ができる広さではなく、試合の時は近隣の中学校のグラウンドを借りている状況なので、今までと練習に大した差はないかなと思います。やわらかいボールというのは実際プレーの感触が違いますので、軟球を使える状況を確保して欲しいと思います。</p>
委員	<p>どちらと言われると困ってしまいますが、しいていうならば屋上校庭案かなと思います。屋上校庭案は、先ほどの話を聞いていて開閉式屋根になると4階建が5階建になるということで、25%話が違うことになるので、その容積率や斜線の問題を含めて具体的なものが出ないと分かりません。どちらかというとなら屋上校庭案が良いかなと思いますが、開閉式屋根をつけた5階建の案をまだ見たことがないので、その点だけ気になります。</p>
委員	<p>どちらかと言われると屋上校庭案が良いと思います。地上校庭案ですと、校庭が日影の時間が非常に多いということと、それから、悪天候で雪が降ってしまうと今の校庭は一回雪が降ると長い間使えなくなるので、天候や日影に大きく影響されない屋上校庭案は魅力的です。また、運動能力テストの報告があり、短距離と持久走の記録が区の平均を下回っているという話があったので、たくさん子どもたちがいっぺんに走り回ったり、自由に動けるスペースがあるというのが魅力的だと思います。地上8階建となると、エレベーターでしか移動できない高齢者の方たちが区民施設を利用することも考えると、4階建のほうが避難する場合にしても、地上に出る距離を考えても良いのではないかと思います。</p>
委員	<p>私も屋上校庭案が良いと思います。高層になると高いところの揺れが大きくなりますし、不特定多数の方が使われるので低層のほうが安全だと思います。北側と現在のプールの場所にスペースができるのであれば、そこをうまく活用すればいいのではないかと思います。動線も正方形に近づければ、縦の動線ではなく、広く横の動線が取れて使い勝手が良いと思います。</p>
委員	<p>屋上校庭案に傾いています。ちょっと質問ですが、先ほど北側のスペースの話がありましたがどうなっているのでしょうか。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>設計でこのようになるかは分かりませんが、現在のプランでは北側に昇降口を置いてピロティ部分に一定のスペースを設けられます。北側に体育館を配置しているのも、体育館に集合した後に神明宮や周辺に避難しやすいように配置しています。</p>
委員	<p>一番心配していることは防災ですので、周辺の空地が使えると良いと思うので、折衝して進めていただければと思います。校庭の問題で、屋上校庭と地上校庭でメリット・デメリットがありますが、これから先、地面をどうするか考</p>

	<p>えていただければと思います。野球については、練習をしています、試合をそこでするわけではないので良いのかなと思います。そういうことで、屋上校庭案のほうが良いのかなと思います。</p>
委員	<p>杉並区で最も古い杉並第一小学校、杉並区の行政の中心でもある阿佐谷、その阿佐ヶ谷駅近くにその学校を中心とした複合施設をつくるわけです。その中で現在の学校の高さを4階建としていたものを、8階建にするよりは、今の高さの4階建を維持して、近隣の緑地を大切にすることでは、屋上校庭案もやむをえないのではないかと思います。そうであるならば、むしろ屋上校庭案の利点を子どもたちのために探してあげればよいのではないかと思います。</p>
委員	<p>私も迷って屋上校庭案が良いなということも感じますが、一方で安全管理があれで十分なのかということに疑問に感じました。子どもは突拍子もない行動を起こします。その話を視察先で聞けませんでした、そういうことを考えると、職員の目、人の目とたくさんの目が行き渡るので、地上校庭案にすべきだと思います。全天候型のほうがプログラムを予定通りにできる利点があるかもしれないませんが、天候とは変わるもので、それによって変更があるのも当たり前なので、そういうことも考えると地上校庭案のほうが良いかと思います。</p>
委員	<p>私は地上校庭案です。今、委員も言われたように自然現象を感じないことが子どもたちの教育に良いとは思えません。あえて言えば、地上校庭でも開閉式屋根をつけることは可能だと思いますし、それを屋上校庭と結びつけなくても良いかと思います。「資料3」を見ますと、天井ネットが10～15mということは鉄骨の柱で3階建相当が建つということで、柱を何カ所か建ててネットを張ると異様な建物になるのではないかと思います。例え、人工地盤でも地上に校庭があったほうが良いと思いますし、昇り降りの大変さはありますが、一番の問題は安全だと思います。地上校庭のほうがなんとなく居心地が良いと思います。</p>
委員	<p>どちらかと言われますと、屋上校庭案が良いと思います。非常の際に幸いにして神明宮や東側の屋敷の所有者にご協力いただけるということで、児童の避難も可能となりますので、その辺はあまり心配しなくて良いかと思います。それと、私は商業者の立場ですので、中杉通りに面して賑わいを創出できるという点が良いかなと思います。</p>
委員	<p>悩みます、一長一短です。防災の点からいえば、震度7でも倒れないという前提に立てば、外に逃げる必要がなくなりますので、その点からいえば屋上校庭案のほうが良いかなと思います。最初は屋上校庭に反対で、地上校庭にしたかったのですが、建物が倒れない前提であれば慌てて出なくても良いので、屋上校庭でも良いかなと思ひ、当初から変わりました。あとは動線の問題です。動線は両案とも一長一短ありますが、これは引き続き考えたいと思います。</p>
委員	<p>本日の委員の皆さんの意見からは屋上校庭案か、地上校庭案かは安易に決めてはいけない印象を持ちました。選択のポイントは校庭だけではないことも重要です。そもそも複合施設になる、というところからスタートしています。</p> <p>複合施設は学校利用部分と地域利用部分の2つがあります。動線の区分、シ</p>

	<p>エアの仕方、ワンフロアの規模で変わってきます。設計の仕方によりますが、ワンフロアの規模が大きければ、同じフロアでのシェアになりますし、狭ければ階ごとの区分けができます。また、この地域では警備員や設備による機械的な見守りに依存するタイプではなく、地域の皆さんの見守りを大事にするコミュニティだと思いますので、地域住民が関わる範囲も配慮した学校と地域の空間シェアの仕方をどうするかが1つのポイントだと思います。</p> <p>もう1点、4階建か8階建か、ということですが、普段道路を歩いている視線を想定すると、例えば2階と4階の差は大きいですが、4階と8階の差は想像するよりもないのかもしれない、と考えることもできます。</p> <p>最後に、校庭についてですが、見学で素晴らしい屋上校庭の事例を訪問しましたので、屋上校庭の設計レベルは高いものがイメージされているのではないかと思います。であれば、一定程度以下のレベルであれば、屋上校庭はやめよう等、条件を付けて区に意見を言うこともあると思います。</p> <p>今回の杉並第一小学校は、区の中でも複合施設としてもモデル校となると思いますので、これから基本設計に入るわけですが、この先の運営管理も想定して、委員の皆様が引き続き意見を言い続けることが大事です。</p>
委員	<p>悩ましいのは分かっていますが、地上校庭か屋上校庭かで建物の形状やプランが決まるので重要な選択だと思います。</p> <p>屋上校庭案であれば、床面積が大きくなるので良いと思いますが、複合施設なので近隣との関係を意識しなければならず、それだけの運営能力を試される施設になると思います。防災の指摘でもありましたが、屋上に逃げて、昌平小学校や中央小学校のように近隣に何らかの広場をセットで持つほうが確かに好ましいです。そうすると、神明宮や地主さんと防災の協力について話し合えるかどうか。また、中杉通り側に賑わいを設けるという話が前提ですが、中杉通りのまち並みや賑わいを学校側に取り込むということになるので、まちとの接点をどうつくるかということも問題になります。それから、校庭が屋上になるので、東側の緑との関係は、中央小学校のようにオープンで開放感のあることができるのかということが試されます。まさに校庭を屋上に決めることは全体を決めることになります。</p> <p>地上校庭案の場合、防災でいえば校庭に避難ということで活動としては自律的になります。教育環境としては、広がりのある中で相互に平面で移動していくことが望ましいと考えていますが、複合施設との関係でいえば8階建になれば層別になり薄っぺらくなった校舎でそれがはたしてできるのだろうかという不安があります。一長一短あるとは思いますが、今後のことを考えると、地域の中の学校という視点を重視して複合施設として、かつチャレンジブルに阿佐谷は変わって行くという想いを込めるならば屋上校庭案が良いかなと思います。以前の雰囲気継続し、学校は学校、地域は地域で新たな関係は別途考えるならば、地上校庭案と考えて良いかなと思います。個人としては屋上校庭案が良いと思います。</p>
委員	<p>先ほど話しがあったように視察に行つて誘導されたわけではなく、個々の委</p>

	<p>員が自分の観点でこれから10年、20年先の視点を考えて見てきました。まして、私が皆さんにお願いして、イメージができないので視察をしたいということで始まった話なので、誘導されたわけではないことは一言申し上げたいと思います。</p> <p>動線のことを考えた時に、地上案であると7階や8階を使う地域の方やそこを児童が使うことを考え、いざという時に下まで降りられるのかということが心配になります。12月の懇談会で委員からシェルターのようなものがないかと話があった時に、これから建てる建物はシェルターの機能も十分に果たせるということでしたので、それを鑑みると屋上校庭案に賛成です。地面の問題は他の委員から心配もありましたが、これから5年先のことなので建築的には進んだものが提供していただけたらと思っています。</p>
進行役	<p>学校の立場から申し上げさせていただきます。皆さんの意見を伺いながら何点か申し上げます。</p> <p>校庭の観点でいうと、今の校庭は1日の半分が日影になってしまい、雨雪の後はいざばらく校庭が乾かなくて使えない状態があります。そう考えると日影の少ない屋上校庭は使い勝手が良くなるという思いがあります。屋上校庭のほうが使える時間、期間が長くなり子どもたちにとっても広がって良いかなと思います。</p> <p>もう一つは、子どもたちが生活する建物はやはり高層より低層のほうが良いと思います。子どもたちが具体的にどこを使うかを含めて8階建よりは4階建のほうが子どもたちの高さ感覚として良いかなと思うので、屋上校庭で4階建が良いかなと思います。今いろいろな委員の意見にありましたが、子どもは突拍子もないことをしますから、今の校庭なら落ちて怪我をすることはありませんが、予想外の行動があって屋上校庭で落ちた時には大変な事故になります。屋上校庭になった時には、安全面のきちっとした細かい手立てがないといけないと思います。なので、大枠としては屋上校庭案が良いと思いますが、安全面ではこれからきちっと条件面を整備して子どもたちの安全を確保して、どんな突拍子もない行動を起こしても命に関わる事故が起きない校舎にしていかなければならないと思いました。</p> <p>それから、学校というのは子どもたちが生活するだけでなく、植物や動物を育てる場があります。特に理科や生活科の授業では、一年生は朝顔を育て、二年生は野菜を育てるというのがありますから、植栽に関わる場がどのように確保されるのかなということがあります。どういうふうに環境を整備していくかということで、動植物の飼育環境や栽培環境をどうしていくかということも今後考える必要があります。諸室の取り方も大きな問題で、外枠ができててもそこをどういうふうな部屋をつくっていくかがもっと大きな問題で、今ここで大枠が決まっても、安全管理のこと、飼育・栽培環境、諸室の配置については今後もっと細かく討議していかなければいけないと思いました。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>本日、欠席の2名の委員からご意見を頂いていますのでご紹介します。 まず一人目の意見の紹介です。「はじめは地上校庭を目指すべきと考えてい</p>

	<p>たが、視察に行き、屋上校庭の工夫をこらした部分を見て、子どもの教育環境には屋上校庭案のほうが良いのではないかと考えが変わった。ただし、条件として屋根をつけることは絶対である。」ということです。</p> <p>二人目の意見の紹介です。「全般について、検討を重ねた案については同意したく、これから細かい配慮を積み重ねて欲しい。配置案は当初は、地上校庭案の認識が強く、そういう発言もしたが、例えば、雪の予報が出た時に校庭にシートを敷いたりという関係者の話を聞くと、8階建の自分の施設の影で日当たりが悪くなるようであれば、視察を通して中央小学校のような工夫があつて風と太陽の自然を感じられるような校庭整備ができるのであれば、屋上校庭案のほうが子どもたちにとって良いかと思う。ただし、災害時、特に火災発生時の避難場所や避難経路の確保など、ソフト面を含めて安心感を高める工夫が引き続き必要。」ということです。</p>
委員	<p>東側の屋敷林の開放について、災害時に開放していただける可能性は高いのでしょうか。</p>
学校整備担当部長	<p>大丈夫です。懇談会の検討の中で、屋上校庭の場合に一階の体育館だけでは心配な面もあり、北側の道路の車の問題もあり、すぐに避難するためには東側の屋敷に扉をつくらせていただき、借りておいた鍵を使って災害時に避難させていただくことはできますか、という話までは進んでいます。具体的な話までは決まっていますが、避難することは協力したいというご返答はいただいております。</p>
委員	<p>神明宮の他に避難場所がない状態で屋上校庭案にするのは心配ということがあったので、今教えていただけるだけの確約があるのであれば、屋上校庭案でも大丈夫かなと思います。</p>
委員	<p>進行役の学校の立場でお話もありましたが、やはり子どもの教育が最優先と思いますので、中央小学校で校長に最後に屋上校庭のメリットをお聞きしました。その折に、非常に有効に全天候で使え、また児童の動線が非常に良いと伺いました。そこで私も安心して、屋上校庭案を推すことができました。学校関係者の意見は非常に重要だと思いますので、伝えさせていただきました。</p>
進行役	<p>それでは、本日の各委員からの意見を受けて、配置計画（案）をまとめていくにあたり、事務局のお考えをお聞かせいただければと思います。</p>
学校整備担当部長	<p>今日、懇談会が今年度最後ということで何らかの結論を出す必要がありますが、多数決で決めるものではないと思っています。今日の意見を聞くと、保留の方も一番優先して考えなければいけないのは、子どもの教育環境をいかによくするかということだと思います。校庭の日影や教室の配置で、いかに子どもたちが教育環境上使いやすいプランかという要素があるかと思っています。なので、保留の方の見解についてはこれから設計の中で十分検討していかなくてはならない要素で回答していけるとと思います。</p> <p>高さの保留について、4階建の上に屋根をつけるか天空にするかは子どもたちの使い勝手を優先に考えると、どう見えるかよりも機能を優先したいと思っていますので、そこもご理解いただければと思います。安全面についても、今後</p>

	<p>の設計の中でソフト・ハードについて子どもの安全をいかに確保するか議論をしていき、教育委員会としても万全の体制を学校と協議しながら決めていきたいと思います。</p> <p>反対意見もありましたが、幅広い視点で検討した中で、メリット・デメリットありますが、皆さんの総意として屋上校庭案ということで意見を頂いたと考えます。ただ、あくまで懇談会ですので、区に持ち帰って、教育委員会や区のトップと相談した上で、この方向をどこまで修正するか、この方向で行くのかを含めてきちっと検討して、最終的な判断をさせていただきたいと思います。</p>
進行役	<p>それでは、次に移ります。「4. 杉並第一小学校等複合施設整備に係る基本構想・基本計画（案）」について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>（「資料4」に基づき「杉並第一小学校等複合施設整備に係る基本構想・基本計画（案）」を説明）</p> <p>阿佐谷児童館内の学童クラブについて、学童クラブの児童と放課後子ども教室の児童との交流機会を確保し、豊かな遊びを通じて一層の健全育成を図るため、区では小学校内で連携して実施できるような環境整備について、施設の配置案も含めて検討してきました。</p> <p>地上校庭案の場合は、校庭のレベルが現在と変わらないため、阿佐谷児童館から道路を横断し、学童クラブの児童も校庭に行きやすい環境にあり、阿佐谷児童館に学童クラブを存置することも検討していました。</p> <p>屋上校庭案の場合は、校庭のレベルが地上4階建の上となるため、阿佐谷児童館から学童クラブ児童の校庭への移動には、施設内を通過しての移動を要することから、小学校内に学童クラブを移設することにより、校庭利用も容易となるとともに、特別教室を活用した、他の小学生との交流しやすい環境づくりもしやすいです。また、学童クラブの設置場所も、比較的低層階に配置することが可能であるため、屋上校庭案を採用する場合は、面積約400㎡、定員130～150人規模程度の学童クラブをこの施設に複合化することとしていきたいと考えています。来年度に実施する基本設計において、学童クラブと現在の放課後子ども教室との連携が図りやすい施設配置を考えていきたいと考えています。</p> <p>基本構想・基本計画（案）には、本日の検討懇談会での検討を踏まえ、屋上校庭案での配置、ゾーニングを目指す施設とし、学童クラブを複合化する形で3月にまとめていきたいと考えています。</p>
進行役	<p>ただいまの事務局からの説明に、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>学童の定員130人の根拠を教えてください。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>学童クラブも今弾力的な運用ということで、定員を増やしながら学童需要に応えながら進めているところもありますが、基本構想・基本計画を区で決定するまでに児童青少年課と規模的な数字を固めて、基本構想・基本計画に盛り込んでいきたいと思います。杉並第一小学校の児童の利用が半分、駅前という立地もあり杉並第一小学校以外の児童の利用も多いということで、需要の状況</p>

	を見据えて検討していきます。
学校整備担当 部長	<p>学校以外の施設を複合していくことということで、12 ページに関連してどう いう施設でどういうコンセプトで、どういう施設の在り方かということはまだ 不足している点があります。それを詰めていくことにより、学校と区民施設を どううまく使ってプランニングできるかと思います。</p> <p>もう一つは 15 ページで、地域とどういう連携をしてコミュニティや文化、 教育をもっていくか、地域の核としての施設づくりをどうするのか、つながり をどうするかご意見をいただきたいので、それについても引き続き十分検討し ていきたいと思います。</p>
進行役	次第の最後となりますが、事務局からの連絡事項をお願いいたします。
教育施設計画 推進担当係長	<p>本日もたくさんの貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。 今年度の検討懇談会は本日が最後となります。3月中旬に、本日の意見も踏ま えて基本構想・基本計画について区で決定し、4月に入りましたら委員の皆様 に決定した内容を郵送させていただきたいと思っております。</p> <p>この懇談会は、校舎・施設の基本設計が決定するまでご協力をお願いいたし ますので、来年度も引き続きよろしくをお願いいたします。</p> <p>次回の懇談会は、基本設計を担当する設計業者が決まり、基本設計の案の用 意ができてからと考えておりますので、6～7月くらいでの開催となるかと思 います。改めて、ご連絡させていただきます。</p> <p>また、本日の会議録の作成ができましたら、送付させていただきますので、 内容のご確認をお願いできればと思います。</p> <p>最後に、昨年7月にこの懇談会を立ち上げ、年度末までに基本構想・基本計 画を策定するという厳しいスケジュールでしたが、事務局としては正直、大変 なプレッシャーを感じながら、進めてきた感もあります。</p> <p>委員の皆様のご協力により、何とか形となり、来年度、施設の基本設計に取 り組んでいける状況まで到達できたと考えております。本当にありがとうございました。 また、少し間隔は空きますが、引き続きご協力のほどよろしくお願い いたします。</p>
進行役	それでは、これで第7回懇談会を終了いたします。皆様、本日はありがとう ございました。